

人類学演習 IV 談話会

日時：10月23日（金） 16:30～18:00

場所：理学部2号館402号室

<講演者>

佐宗 亜衣子さん

（東京大学大学院 形態人類学研究室）

<講演テーマ>

「形態的類似性から探る家族関係：姥山貝塚 B9 号住居址人骨群を例に」

<要旨>

1926年に姥山貝塚 B9 号（接続溝 1 号）住居址から、5 個体の人骨が発見された。男性 2、女性 2、幼児 1 で構成されるその人骨群は、その発見状況から当初”一家”と推測され、縄文社会の家族論における重要な事例となってきた。近年では廃屋葬の例と捉えるべきであり、家族とみるべきではないという見解が支持を集めているものの、いまだ異論も多い。

これまで、この人骨群が”一家”であるか否かという議論は主に出土状況や共伴遺物等の考古学的事実も基づいており、生物人類学的側面からの検討は行われてこなかった。本研究では歯冠計測値と額部や鼻部といった局所的な部位の形態比較により、姥山貝塚集団内における 5 個体の類似度について検討した。

今後の予定

10月30日 青木研 露木さん

11月6日 休み

担当：佐々木智彦（近藤研）